

ビジュアル
コミュニケーション
活用シーン

ビジュアルコミュニケーションを使った
授業・講義で「学び」を変える

RICOH
imagine. change.

ICTを活用した わかりやすい授業



ICTで授業が変わる

映像・写真・図解といったビジュアルを使った授業。これまで紙の教科書で見ていたものが、プロジェクターや電子黒板といったICT*機器を使うことで、動画や写真を大画面で見ることができるようになります。ICT機器と先生のちょっとした工夫で、子どもたちが“ワクワク”する授業に変わります。

* ICTとは情報通信技術の略称です。



お困りごと

- ・ プロジェクターの設置に、手間と時間が掛かり休み時間中に準備が終わらない
- ・ 後ろの席の子どもたちから、先生の説明している様子がみえない



解決策

- ・ **設置準備が簡単!**
教卓に置いてパソコンにつなぐだけで自動で電源ON
- ・ **壁ピタ設置による超至近投写で、
設置場所がなくても大画面で授業ができる**



短焦点・超短焦点プロジェクターは、「簡単操作」「超至近投写」「コンパクトサイズ」を実現した先生に優しい製品です。設置の手間を解消し、パソコンにつなぐだけですぐに授業が始められます。設置場所にも困りません。映像と音声を使ったコミュニケーション授業で、生徒の集中力を上げ主体性を延ばす教育の実践に一役買うことができます。

活用シーン

01

教卓の上に置くだけで大画面に
投写できるので、設置準備が簡単

簡単設置

教卓においてそのまま投写

リコーのプロジェクター(教育モデル)なら80インチの大画面を、わずか約80cmの距離で投写。プロジェクターを置くための専用の台がなくても、教卓の上に直接設置して黒板に映すことが可能です。

パソコンをプロジェクターにつなぐだけで自動で電源ON

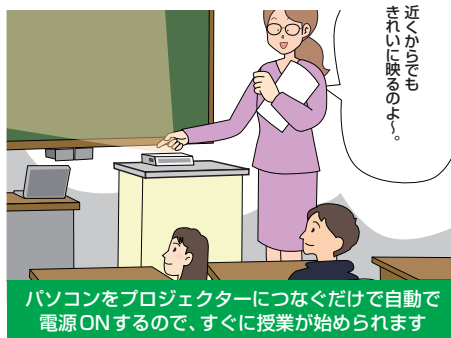
電源ボタンを押さなくてもプロジェクターに機器を接続するだけで、自動的に電源ONして投写を開始します。電源ONから3秒後には映像が表示されるので、すぐに投写が開始できます。さらに、映像入力を自動判別するから、パソコン画面の切替や、プロジェクターの入力切替の操作も必要ありません。

before



プロジェクターの設置に手間と時間がかかる

after



パソコンをプロジェクターにつなぐだけで自動で電源ONするので、すぐに授業が始められます

02

省スペース型の
プロジェクターを使って、
大画面で授業の内容を共有

超至近投写

壁ピタ設置で超至近投写

リコーの超短焦点プロジェクターならわずか11.7cmの超至近投写が可能。例えば理科室の実験スペースや体育館の床の隅に設置することができます。授業の幅が広がります。

before



大画面で説明したいけど
プロジェクターを置く場所がない

after



壁の近くに置くだけのカンタン設置で
すぐに大画面で投写できます

導入効果

- ・プロジェクターの設置がカンタン、準備レスなのでスムーズに授業が開始できます
- ・省スペース型なので、設置場所に困りません
- ・プロジェクターを使うことで大画面でインパクトのある授業ができます

ricoh.co.jp/solution/vc/edu/

詳しくは WEB へ ▶

リコー VC

検索

短焦点・超短焦点
プロジェクター

ricoh.co.jp/projector/



RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>